

平成 30 年度職員採用試験（大学卒業程度）  
総合土木 専門記述試験（30. 6. 24）

次の 3 つの課題のうち、いずれか 1 つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○豪雨災害に対する防災，減災対策について

地球温暖化などの気候変動に伴い，近年，時間雨量 50mm を上回る短時間降雨の発生件数が増加し，また，総雨量 1,000mm 以上の雨を記録するなど，全国的に雨の降り方が局地化，集中化，激甚化しています。

このような状況の中，本県では，道路，河川，砂防などの事業別整備計画において，施設の能力を上回る降雨の発生頻度が高まる可能性を踏まえた防災・減災対策を進めることとしています。

そこで，①道路への落石，②洪水，③土砂災害，それぞれの自然災害について，限られた予算の中で，どのような防災・減災対策が効果的か，ハード，ソフトの両面からあなたの考えを具体的に述べなさい。

＝ 課 題 2 ＝

○生産性の高い優良農地の確保について

国は「総合的なTPP等関連政策大綱」に即し、生産基盤の整備を通じた我が国農業の競争力強化に加え、高収益作物への転換など攻めの農業を加速化することが重要とし、高収益作物を中心とした営農体系への転換を促進するため、畑地・樹園地の高機能化等の基盤整備を推進しています。

また広島県では、「ひろしま未来チャレンジビジョン 農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）」を策定し、農業においては、重点品目<sup>※</sup>の拡大による担い手を中心とした生産構造への転換を目指すこととしています。

※重点品目：キャベツ， トマト， ほうれんそう等軟弱野菜，  
ねぎ等， アスパラガス， レモン， 水稻

農業農村整備の役割としては、生産性の高い優良農地を確保するために基盤整備を行い、収益性の高い作物（重点品目）について生産の安定と拡大を実現することが求められます。

そこで、あなたが農林水産行政の農業基盤整備の担当者として、優良農地を確保することになったと想定し、次の①から④について、具体的に述べなさい。

- ①どの重点品目（複数選択可）について、どのような基盤整備を行うか。
- ②その基盤整備を行う目的と、期待できる効果はどのようなものか。
- ③その基盤整備の計画又は工事に当たっての、技術的課題はどのようなものか。
- ④その課題解決のため、どのような対策を講じるか。

＝ 課 題 3 ＝

○今後の社会資本のあり方について

広島県では、本県を取り巻く様々な情勢の変化やこれまでの取組の成果等を踏まえた上で、更なる成長へ向けての将来像を示した「ひろしま未来チャレンジビジョン」を策定し、これに基づき行政全般の各種事業を進めています。

社会資本についても、このチャレンジビジョンと整合を図りながら、「社会資本未来プラン」を策定し、目指す将来像の実現のため、戦略的・計画的に整備・維持管理を進めています。

そこで、現在の本県における道路や河川などの社会資本を取り巻く現状と課題について簡潔に述べるとともに、今後の社会資本がどうあるべきか、あなたの考えを具体的に述べなさい。